

## スタッフコラム

4月中旬を迎え、春のやわらかな風を感じる今日この頃…。新年度を迎え、気持ちも新たにという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

さて私事ですが、長男がこの春中学校へと入学し、新たな生活が始まります。親として応援する気持ちと、親離れしていくのであろう寂しさが心の中で葛藤しています。年齢的にも色々思う多感な時期です。そんな長男から最近「お父さんの仕事はどういう事をしているの?」と聞かれました。その時は「亡くなった方の旅のお手伝いをしている」というような曖昧な感じの答えになってしまい、うまく言葉で表現することができませんでした。

それからしばらく後、担当させていただいたご葬儀での出来事です。その方は生前、認知の症状があり、ご家族の事もあまりわかっていないご様子だったそうです。ご家族にとってそれは寂しくもあり、また受け止めがたい感情もあったかと思います。そんな状況のある日、その方がご家族に「いつもありがとう…」と声をかけられたそうです。そして、その言葉を最後にお亡くなりになりました。まるでご自分の死期を予感していたかのようなタイミングで、長年寄り添ってきたご家族に感謝の言葉を残されたのです。遺された家族にとっても感謝の言葉は今後の支えになり、故人様にとっても「ありがとう」と最後に想いを伝えることができたことは、かけがえのないことであつたと思います。

このお話をご家族の方から聞いた時、「想いを伝えること」の大切さを強く感じました。そしてご縁によってすべての物事はつながって成り立っており、そのつながりや想いをいかにして共有できるかが大切なのだと……。

私の仕事は、葬儀に携わり、亡くなられた方の旅立ちをお手伝いする仕事ですが、一方で、亡くなられた方と一緒に過ごした時間や思い出を、ご家族やご縁のあった方たちと共有できる空間を作り出すことでもあるのだと思いました。そして子供たちには、私の仕事は亡くなられた方をあの世に送り出すお手伝いであり、亡くなられた方と遺された人達と想いや縁をつなげるかけがえのない仕事であると伝えようと思ったのでした。



吉田圭佑

## ちょっとひといき

故人様にまつわる趣味の品・作品・お写真など、思い出の品を飾る「偲ぶコーナー」を彩る小物が欲しいと思いつき、私が師匠とと思っている海外のユーチューバーの方の動画を探してみました。その中で、リボンで作る可愛い薔薇の動画が目に入り「これだ!!」と早速作成してみることにしました。

材料はリボンと刺繍用の太い針(1.0cmぐらい)2つとお手頃です。リボンはお馴染みの百貨ショップで購入し、針は動画と似たようなものが家にあつたのでそれを使用しました。

### 【作り方】

- ①リボンを50cmぐらいの長さに切ります。
- ②リボン端から2cmぐらいの真ん中の位置に針を下から刺します。
- ③2cm間隔で波縫いをする様にリボンに針を刺していきます。
- ④針の糸を通すほうを上にしてリボンを斜めに切ります。
- ⑤針を時計回りに回しながら下に針を引き抜きます。この時に形を整えます。
- ⑥引き抜いたリボンの余った部分を切り完成です。



動画を再生しながら見れば見真似で作成したのですが、写真の通りなかなかの出来栄えに大満足です。最後形を整えながら針を抜く部分は難しかったのですが、作っているうちに楽しくなつてしまい、気づけば黙々と色々な色の薔薇が出来上がっていました。材料も少なく手軽に作成できるので皆さんもお時間のある時に可愛い薔薇のリボンを作ってみてはいかがでしょうか。



宮原 由佳

## あとがき

新年度を迎え、新しい環境でスタートをきられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。すれ違う真新しいランドセルを背負う子供達の姿を見ると、微笑ましい気持ちと懐かしい思い出が浮かんできます。この春に東予葬祭にも新入社員が入社しました。必死に新しいことを覚えようとする姿に、先輩達も気が引き締まる様で、今まで以上に切磋琢磨しております。新しい風が吹くことは良いことですね。日々新スタッフも精進しておりますので、見かけた際には、温かい目で見守っていただけると幸いです。



出口 秀美

## 役に立つ葬儀の話 Vol.58

### 【医療】

人生の最終段階の医療・ケアで、本人の意思が尊重され、希望する「生」を全う出来る様に患者・家族・医療従事者があらかじめ話し合う取り組みで、「ACP アドバンス・ケア・プランニング」という言葉があります。日本では「人生会議」というネーミングで、厚生労働省が普及啓発しているそうです。終末期医療についてノートに書き記すことは、本人やご家族にとっても大切なことです。

### 【延命治療】

あなたが医師から余命宣告された後のことや、意識不明など判断がつかなくなった状態での対応、そして回復の見込みがない状態での延命治療など、自分の意思や考えを書き伝え、家族や周りの大切な人の負担を軽減することが出来ます。

- ・治療をせずに自宅で余生を過ごしたい。
- ・自宅療養したい。
- ・治療せずに尊厳死を希望し、書面も作成する。
- ・苦痛緩和の治療にしてほしい。
- ・延命治療を最後まで全力で施してほしい。
- ・回復の見込みがなければ延命治療は受けたくない。
- ・痛み苦痛を伴うのであれば、延命治療は受けたくない。
- ・治療の継続やその方針、方法は私の意思を尊重してほしい。

延命治療を巡っては、本人の希望が家族に伝わっておらず、家族が決定せざるを得ないことがしばしばあります。

「最期は自然に委ねたい」「家族に迷惑をかけたくない」という声が高まり、延命治療を望まない方も増えてきています。本人も家族も後悔しない選択をするためには、病気の進行具合や治療法、本人の希望が変わる事もあるので、何度も話し合うことが大事です。



小番英之

方が一の時に、喪主になられる方へ、いざという時に慌てないために事前準備をしっかりと行うことが大切です。

①お葬式の流れ  
もしもの時に慌てないために、ご臨終から通夜、葬儀、初七日法要までの流れを把握しておきましょう。

②生前見取り  
生前見取りとは、生前中に葬儀プラン等を設定し、見取り書等を発行するサービスです。葬儀の内容を十分検討出来ることにも、事前に費用を把握することで金銭的な不安を解消できます。

③個別相談  
ドリーマーでは、ご相談者のご要望を確認した上で、不安な事柄を汲み取りながら不安な点についてお答えします。

お問い合わせ  
資料請求

フリーダイヤル  
0120-44-5880

365日24時間対応しております。  
【通話無料】携帯電話でもつながります。  
ドリーマーご自宅出張  
無料事前相談実施中!!

お急ぎの方は  
電話にて  
対応いたします。

ドリーマーの葬儀費用  
◆ドリーマーではご葬儀前に必ず全てのお見積もりをお客様に提示いたします。  
◆ご予算に合わない場合は、予算に合わせて内容の変更が可能です。  
◆後で想定外の費用が発生する事はございません。